

愛教大、メディエーター養成

トラブル解決役、全国初

愛知教育大（愛知県刈谷市）は四月から、学校での
もめ事などの解決を促す専門職「教育メディエータ
ー」の養成を本格的に始める。愛教大独自の資格で、
同大によると、教育分野でのメディエーター養成は全
国初。保護者からの苦情や子ども同士のトラブルなど
に教員とともに対応し、教員の精神的負担の軽減を図
る狙いがある。

（佐橋大）

メディエーターは当事者 たるのは、同大が昨年四月、
同士の対話を促し、合意に 学校事務職を育成するため
つなげる専門家。日本では 新設した「教育ガバナンス
医療分野で先行し、メディ コース」。今年四月には専
エーターの技法を学んだ専 門職として具体的な課題へ
門職員を置く病院もある。 の対処法を学ぶ講座が始ま
米国では教育分野でも普及 る。コースの新生七十七
している。 人のうち五十五人が資格取
新たな専門職の養成に当 得を目指す。講座を受け、

提携する一般社団法人が行
うメディエーター認定試験
に合格すれば、卒業時に大
学から「教育メディエータ
ー」の資格が与えられる。
卒業生は事務職員として
学校や教育委員会に勤めな
がら、対話を促す専門家と
してトラブルに対応するこ
とが想定される。松原信継
教授（教育行政学）は「米
国では解決率も当事者の満
足度も高い。日本でも有効
な手段とするには、学校側
がメディエーターを活用し
よう」という意識を持つこと
が鍵だ」と話している。